

# 横手市議会定例会

令和2年度

# 市長施政方針

令和2年3月

横手市

## 第2次横手市総合計画

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が<sup>ひら</sup>く<sup>かがや</sup>くまち よこて

### 基本計画 政策・施策

**政策1** 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます  
【健康福祉】

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 【施策 1-1】 子育て支援の充実          | 【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実   |
| 【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進      | 【施策 1-5】 低所得者福祉の充実      |
| 【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進 | 【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成 |

**政策2** 学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます  
【教育文化】

- |                                 |                                 |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 | 【施策 2-4】 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進 |
| 【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備      | 【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見        |
| 【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進      |                                 |

**政策3** 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます  
【生活環境】

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| 【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 | 【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進 |
| 【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全    | 【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進   |
|                                | 【施策 3-5】 エネルギーの地産地消の推進 |

**政策4** 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります  
【産業振興】

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興 | 【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信     |
| 【施策 4-2】 活気ある商業の振興  | 【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策 |
| 【施策 4-3】 活力ある工業の振興  |                            |

**政策5** 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます  
【建設交通】

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現     | 【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 |
| 【施策 5-2】 快適な移動空間の実現       | 【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備         |
| 【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実 |                                  |
| 【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化 |                                  |

**政策6** やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます  
【市民協働】

- |                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| 【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 | 【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備 |
| 【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり           | 【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進 |

**政策7** 横手を思い、市民の思いを実現させる創造的な行政経営を進めます  
【行政経営】

- |                                 |
|---------------------------------|
| 【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立 |
| 【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進   |
| 【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実   |

## 目 次

|  |    |
|--|----|
| 1. はじめに .....                            | 1  |
| 2. 地方創生に向けた重点施策について .....                | 4  |
| (1)第143回秋田県種苗交換会ならびに第12回全国発酵食品サミットについて.. | 4  |
| (2)横手駅東口第二地区市街地再開発事業について .....           | 6  |
| 3. 予算案について .....                         | 7  |
| 4. 主要事業等について.....                        | 10 |
| (1)みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり【健康福祉】.....       | 10 |
| (2)楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり【教育文化】.....          | 13 |
| (3)美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり【生活環境】 .....    | 14 |
| (4)地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり【産業振興】.....      | 15 |
| (5)安全で快適な住みよいまちづくり【建設交通】.....            | 19 |
| (6)みんなの知恵を持ちよりみんなが輝くまちづくり【市民協働】 .....    | 21 |
| (7)計画実現のために【行政経営】.....                   | 23 |
| 5. 補正予算について.....                         | 24 |
| 6. おわりに.....                             | 25 |

令和2年3月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本方針と令和2年度予算案についてご説明申し上げますので、市民の皆様ならびに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 1. はじめに

過去の大雪の経験を踏まえ、例年通り万全の体制で迎えた今冬でございますが、シーズン初めに85センチの積雪があったものの、以降の降雪量は非常に少なく、令和となって初めての冬はこれまでになかったような少雪となっております。

冬の秋田を代表する当市の伝統的な小正月行事「かまくら」がつい先日行われたところでございますが、例年になく積雪が少ない状況となり、近隣では雪関連イベントが相次いで中止となるなか、雪の確保をはじめ多方面からのご協力を頂戴したことで、市内各会場にかまくらを設けることができました。「横手のかまくら」開催に向けご尽力いただきましたたくさんの関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、足をお運びいただいた観光客の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、安倍首相は、今通常国会での施政方針演説において、人生百年時代の到来は大きなチャンスであるにとらえ、働き方の変化を

中心に据えながら、年金・医療・介護などを包括的に見直す全世代型社会保障改革を成し遂げるとの決意を表明いたしました。

国民の将来への不安が払しょくされ、すべての世代が安心できる社会保障制度の構築がなされるよう望みつつ、誰もが活躍できる一億総活躍社会の実現に期待を寄せるところであります。私たちが住む横手市そして秋田県は、人口減少の加速化、超高齢社会への突入、といわれる日本の中においても、他に先んじて問題が進行している地域であります。そのような状況のなかにおいても、市民の皆様が、より一層豊かで幸せに暮らしていただけるよう政策・施策を実行していくことは、日本が抱える課題を当市が先陣を切って解決していくことにつながるものと決意を新たにいたしました。一步先の政策に向かって踏み出し、自分たちの未来は自分たちで切り拓くべく、高い理想と気概を持ちながら市政運営に臨む所存であります。

去年は、令和の幕開けとともに横手市増田まんが美術館がリニューアルオープンし、当初の想定を上回るペースで多くの方々にご来館いただきました。貴重な原画の収蔵のみならず魅力的な企画展を切れ目なく開催したことがマンガファンの心を掴んだものと考えており、引き続き二度三度と足をお運びいただけるようマンガを軸とした様々な取り組みを進めてまいります。

迎える新年度は、東京<sup>ニューゼロニューゼロ</sup>2020オリンピック・パラリンピックが開催される年であります。オリンピック聖火が日本全国を回り、当市におきましても、6月9日に秋田ふるさと村から横手体育館に向かって聖火リレーが実施されることとなっております。今回のオリンピック・パラリンピック開催を機に、市民の皆様のスポーツに対する関心が一段と高まり、「見るスポーツ」によって心を豊かにするとともに、それがさらに「するスポーツ」へとつながっていくよう、「スポーツ立市よこて」を掲げる当市といたしましても、より一層のスポーツ振興に努めてまいります。

さらに、オリンピック・パラリンピックが閉幕したこの秋には、県内最大規模の農業の祭典である第143回秋田県種苗交換会ならびに第12回目となる全国発酵食品サミットが当市において開催されることとなっております。折しも当市が合併し15周年目を迎えることから、市としての一体感とにぎわいが創出されるようなイベントとなるよう取り組んでまいります。

平成29年10月からの私の市政運営2期目も2年が経過し、早いもので市長任期も折り返しとなりました。市政の運営にあたりましては、「産業を育成し雇用を創出する」「農地山林フル活用」「人口減少に歯止めを」「安全と安心に支えられたまちづくり」「活気あふれる充実した市民生活を」「横手にぎわい創出」の6項目

を政策理念に掲げ、市民の皆様との対話を重ねながら、粉骨砕身努めてまいりました。この間、企業誘致、第三セクターの解散ならびに公共温泉施設民営化、秋田自動車道横手北スマートインターチェンジの開通及び四車線化要望区間の一部事業化など、長年の懸案事項に真正面から取り組み、その解決に一定の道筋をつけることができたと考えております。

来たる令和2年度につきましても、政策理念に基づきこれまで実施してまいりました様々な取り組みをさらに強力で推し進め、「みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて」の実現を目指してまいります。

## **2. 地方創生に向けた重点施策について**

### **(1) 第143回秋田県種苗交換会ならびに第12回全国発酵食品サミットについて**

長い歴史と伝統を誇る第143回秋田県種苗交換会が10月29日から11月4日までの1週間の予定で当市を会場に開催されます。平成23年以来9年ぶりの開催となることから、市とJAの各部局からなる運営本部体制を整備し、開催準備を進めてまいります。

種苗交換会開催にあたりましては、県内外から訪れる多くの皆様

に横手の魅力を感じていただけるイベントとなるよう、農林関係団体や商工観光団体などと連携し、独自行事も取り入れた企画を検討してまいります。

また、平成20年3月に当市で第1回目の全国発酵食品サミットを開催し、これを契機に当市が事務局となって「全国発酵のまちづくりネットワーク協議会」が設立されました。以降、サミットは全国各地の会員市町村持ち回りでの開催となっておりますが、この度、先週22日に私も出席してまいりました「令和元年度全国発酵のまちづくりネットワーク協議会総会」が熊本市において開催され、令和2年度、第12回目となる全国発酵食品サミットの開催地を横手市とすることが正式決定されました。そこで、第143回秋田県種苗交換会が当市において開催されることもあり、その相乗効果も見据え、10月31日、11月1日の2日間、秋田ふるさと村を会場に開催することといたしました。

具体的な内容につきましては、これからとなりますが、「発酵のまち横手」として、味噌、麴、いぶりがっこといった当市の発酵食文化を全国に発信する好機と捉え、準備を進めてまいります。

## (2)横手駅東口第二地区市街地再開発事業について

横手駅東口第二地区市街地再開発事業につきましては、現在、再開発準備組合において、既存建物の解体や再開発ビルの建設などを行うことができる再開発組合の設立に向けて、県知事から認可を受けるための手続きが進められております。

再開発組合では令和2年度において、再開発ビルの実施設計書の作成、事業への参画・地区外転出など、地権者の最終的な権利の移行・消滅を定めた権利変換計画の作成やそれに伴う補償費の支払いなどを行う予定と伺っております。

当市といたしましては、国と県の助成制度を活用しながら、再開発組合に補助金を交付するなど、様々な支援を行ってまいりたいと考えております。

また、図書館もある公益施設につきましては、これまで『人と人が「つどい、つながる」交流拠点』という「Y2ぷらざ」との共通コンセプトのもと、「学び・創造・成長」をテーマとした新たな機能について検討を重ねながら、基本設計を進めてまいりました。

図書館の持つ「知」の機能と様々な市民活動の融合をイメージし、施設の中心には吹抜けのオープンスペースを設け、展示や催し物ができるように計画しているほか、ビジネスのためのワークスペースやラウンジ、ティーンズエリアの新設も計画しております。

令和2年度は、実際の施工に向けて実施設計に入ります。市民の皆様が利用しやすく、また将来にわたって長く愛される施設となるよう、施設の運営方法やY2ふらざとの機能面での役割分担も含め、細部にわたり十分な検討を進めてまいります。

### 3. 予算案について

令和2年度の一般会計予算総額は543億1,300万円となり、令和元年度と比較して17億円、率にして3.0パーセント減としております。

本予算案は、「横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が計画期間の最終年度となることを受け、その取り組みを着実に推進し、また喫緊の課題に取り組むべく、重点事項5項目について、他の施策に優先して予算を編成したものであります。

はじめに、歳出の主な内容につきまして申し上げます。

総合戦略の基本目標に関連する内容として、第1項目の「魅力あふれる、産業と雇用があり住みたい・住み続けたいと思えるまちの実現」には、事業内容の拡充を図ったBIGプロジェクト支援事業、継続事業として、農業経営安定化対策事業、増田まんが美術館費や地域づくりに関する事業など27事業で11億8,418万円を

計上しております。同じく総合戦略に関連する内容として、第2項目の「若い世代が、結婚や子育てに希望を持てるまちの実現」では、子どものための教育・保育給付費として副食費の助成の拡充や民営化した保育所などに対する経費、ならびに民間保育所の整備助成事業や病児保育事業など合わせて6事業で39億5,142万円を計上しております。

その他の重点項目として、第3項目の「防災・減災を進め、災害に強い安心して暮らすことのできるまちの実現」につきましては、雨水排水対策事業や避難行動要支援者個別計画等作成事業を引き続き実施するなど、2事業で6,609万円を、第4項目の「ハード・ソフト両面の社会基盤強化による、人にやさしく環境にやさしい快適なまちの実現」には、市街地再開発対策費（横手駅東口第二地区）や地域公共交通活性化事業など3事業で9億6,537万円を計上しております。第5項目の「よこての特色を活かし、市民・民間と手をたずさえて、地域活力を共に創るまちの実現」につきましては、雄物川庁舎整備事業や十文字地域多目的総合施設整備事業、秋田県種苗交換会開催にかかる経費や東京<sup>ニーゼロニーゼロ</sup>2020オリンピック関連事業など12事業で15億6,367万円を計上したところであります。これら重点5項目の合計は50事業となり、金額ベースでは、令和元年度を上回る

77億3,075万円を計上しております。

次に、歳入の主な内容につきまして申し上げます。

市税につきましては、法人市民税の制度変更などによる減収が見込まれることから、令和元年度比0.9パーセント減の82億6,292万円としております。

令和2年度の地方交付税につきましては、国の地方財政計画では2.5パーセントの増となっておりますが、普通交付税の段階的縮減措置の影響などを考慮のうえ、令和元年度比3.2パーセント減の185億6,100万円とし、交付税の振替措置として発行される臨時財政対策債につきましては、令和元年度比14.0パーセント減の9億8,900万円と見込んでおります。

寄附金では、令和元年度、「ふるさと納税寄附金」の制度改正があったことを受け、令和元年度から減額した3億5千万円を見込んでおります。

市債につきましては、雄物川庁舎整備事業や十文字地域小学校統合事業、十文字地域多目的総合施設整備事業をはじめとした普通建設事業などに活用し、令和元年度比10.4パーセント減の68億4,010万円としております。

特別会計につきましては、国民健康保険特別会計など8特別会計の総額が、令和元年度とほぼ同額の252億5,620万円となっ

ており、また、病院事業、水道事業ならびに下水道事業からなる企業会計につきましては、令和元年度と比較して4.8パーセント増の184億8,470万円を計上しております。

以上、令和2年度の全会計予算総額は、令和元年度比1.0パーセント減の980億5,390万円としております。予算総額としましては令和元年度から縮減されているものの、先に申し上げましたとおり、市税、地方交付税の減収によって財源はより一層厳しさを増しております。今後も、有利な財源の確保や、財政調整基金をはじめとする各種基金の活用のほか、行政評価の結果をもとに各事業間の予算配分にメリハリを付け、一つの施策で複数の効果を狙うなど、市民サービスの維持・向上に努める所存であります。

## 4. 主要事業等について

### (1) みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり【健康福祉】

この4月より、健康推進課、子育て支援課、各地域局市民サービス課に「子育て応援窓口」を、子育て支援課に「横手市子ども家庭総合支援拠点」を設置いたします。「子育て応援窓口」では、妊娠初期から子育て期におけるそれぞれの段階に応じた支援や情報提供、保健師からの助言など、これまで以上の切れ目のない

サポートにより、母子保健と子育て支援が一体となった事業を実施してまいります。また、「横手市子ども家庭総合支援拠点」においては、児童相談所など関係機関との連携をより一層強化しつつ、「子育て応援窓口」との両輪で、子どもとその家庭及び妊産婦の方への支援を行ってまいります。

また、大規模な災害が発生した場合、避難所などでは保健衛生、福祉及び介護などに従事できるスタッフの不足が懸念されており、専門的な資格や知識を有するボランティアの力が必要となることから、新たに「災害時専門職ボランティア登録制度」を創設し、この4月から社会福祉課において登録を受け付けいたします。事前に登録していただくことで、有事の際には迅速かつ円滑な避難所での支援にあたっていただける体制を構築いたします。

高齢者福祉対策につきましては、高齢者の自立支援を目指すべく、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする「第8期横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画」を策定することといたしております。今回の事業計画策定におきましては、東北大学公共政策大学院と連携し、より客観的な検証を加え、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの推進に努めてまいります。

成人健診につきましては、令和元年度に実施方法を統一したこと

により受診率が向上しておりますが、医療機関で健診を受けていただくことのできる期間の拡大を進め、更なる受診率の向上を目指してまいります。胃がん検診につきましては、国・県の推進方針に沿って、令和2年度中に満59歳を迎える方を対象として、胃内視鏡検査を10月以降に実施する予定といたしております。今後も市民の皆様様の健康寿命延伸を目指し、関係機関と協力しながら、安定的かつ継続的な健（検）診体制の確保に努めてまいります。

市立横手病院につきましては、それぞれ建設年の異なる建物が3棟一体となっており、現在は建物の劣化・老朽化の状況を把握しながら維持に努めております。今後は、「地域医療構想」を勘案しつつ、適正な病院機能の維持及び良質な医療を提供すべく、改修・設備更新を行い、長寿命化を図ってまいります。さらに、安心、安全で質の高い急性期医療の提供と、地域包括ケアシステムの担い手として取り組みを進めてまいります。

市立大森病院につきましては、昨年9月26日、厚生労働省により、再編統合の議論が必要であるとされる「再検証要請対象医療機関」として公表され、その後、議員の皆様ならびに市民の皆様から病院存続に対する多くのご要望を頂戴いたしました。

先般、私は、厚生労働省の関係部署、県の担当部局それぞれに対し、病院存続に関しての要望を行ったところであり、地域に所在

する関係施設や市民の皆様とともに作り上げてきた「地域包括ケアシステム」、ならびに「健康の丘おおもり」の各施設とのネットワークを今後も維持していくためには、大森病院の存在が必要不可欠であることを訴えてまいりました。今後も西部地区の医療を支える中心的な役割を担うため、関係各所へ精力的な要望活動を行いつつ、引き続き経営改善と体制強化に努めてまいります。

## (2) 楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり【教育文化】

本年7月24日から8月9日までの期間、東京<sup>ニ-ゼロニ-ゼロ</sup>2020オリンピックが開催され、その開催に先立ち、3月26日、福島県より聖火リレーがスタートいたします。秋田県は、6月9日と10日の2日間にわたり、県内14市町村を走るルートが設定されており、当市におきましては6月9日に秋田ふるさと村から横手体育館前までの約2.6キロメートルの区間を13名のランナーにより聖火がリレーされる予定となっております。昨年12月のルート公表以降、円滑な実施に向けて、関係機関との調整を行いながら準備を進めているところでございます。

また、オリンピック開催期間中には、パブリックビューイングや市民応援ツアー、当市のホストタウン相手国でありますインドネシア共和国のバドミントン選手団への応援メッセージをお送りする

ことなどを検討しております。

さらに、8月25日から9月6日まで開催される東京<sup>ニ－ゼロニ－ゼロ</sup>2020パラリンピックに向けては、市内でパラリンピック聖火の採火式を実施することを計画しており、東京<sup>ニ－ゼロニ－ゼロ</sup>2020オリンピック・パラリンピック開催の思い出を多くの市民の皆様と共有できるよう取り組んでまいります。

### **(3)美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり【生活環境】**

現在の「横手市空家等対策計画」は、主に老朽危険空家対策を中心とし、平成28年度に5年間の計画期間で策定いたしました。

計画に基づき、老朽危険空家の解体撤去工事に対する補助23件、<sup>あとち</sup>跡地活用事業3件などの対策のほか、適正な管理を促すため、チラシやホームページを活用した周知活動を実施してまいりました。

令和2年度においては、あらためて市内全域の空家の状況に関する実態調査を実施するほか、最新の法令や施策を踏まえ、産業振興や福祉的用途への利活用、ならびに空家の発生予防対策などを盛り込んだ「第2期横手市空家等対策計画」を策定することとしております。策定にあたりましては、専門家や有識者などで構成する空家等対策協議会をはじめ、市民の皆様からもご意見を頂戴しながら内容の検討を進めてまいります。

消防団につきましては、地域の実情を考慮し有効に活動できる体制を構築するため、消防団組織の検討委員会において協議を重ねており、令和2年度については、引き続き「第2次消防団改革計画」に基づく大雄地域の施設統合事業を進め、消防団の施設や装備の充実を図ってまいります。

#### **(4)地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり【産業振興】**

令和元年産米につきましては、生育が良好に推移し作況指数は「やや良」の「104」となりました。米の品質ならびに農家所得の向上を図るため、産業用ドローン及び色彩選別機の導入などにつきまして、市独自の支援策を継続してまいります。

園芸作物につきましては、県事業の「園芸メガ団地整備事業」をはじめ、市単独事業の「戦略作物重点支援事業」、「高収益作物導入推進事業」のほか、ICT関連事業などの活用促進を図り、複合農業産地化の推進に努めてまいります。

県内一の生産量を誇る果樹につきましては、国・県の支援事業に加え、災害や病害からの復旧を支援する「果樹等風害復旧対策事業」や「果樹産地体質強化推進事業」など市独自の支援策により産地の維持と体質強化を促進してまいります。

また、農業者の皆様の積極的な営農活動を推進するため、JA

秋田ふるさととの間で締結している連携協定に基づき、これまで各施策への取り組みを強化してまいりました。令和元年度におけるJAの販売額は、平成15年以来の200億円を超える見込みと伺っており、引き続き、農業者の皆様への所得向上と担い手の確保・育成を図るとともに、関係機関の皆様との連携強化により、日本一の複合農業産地の確立に向けた取り組みを継続してまいります。

次に、園芸振興拠点センターで実施される栽培実証につきましては、JAの営農指導への活用や生産者の技術向上を図るため、センター内に栽培マニュアルに基づいた「モデル展示ほ場」を設置することとしております。

農業技術研修につきましては、市内の農業法人やJA各生産部会と連携した外部研修の充実など、就農後の営農定着につながるよう、研修カリキュラムの拡充を図ってまいります。

また、加工の場の提供による6次産業化支援につきましては、引き続き、各種研修会を開催し、農産加工の基礎知識や技術の習得、テストマーケティングなど、6次産業化に向けた取り組みを行う方々の商品開発に向けた支援を行ってまいります。

次に、農業生産基盤整備につきましては、市内12地区において、ほ場の区画整理や暗渠排水などの工事が予定されており、事業を円滑に推進することで、生産性の向上につなげてまいります。

林業振興につきましては、森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度が令和元年度よりスタートしており、適正な経営や管理ができない森林については、所有者に代わって市が経営管理を行っていく取り組みを進めてまいります。

商工業の振興につきましては、「横手市商工業振興計画」に基づき、地域商業の活性化や起業・創業の推進に向けたサポート体制の充実を図るほか、製造業以外の企業の皆様の事業拡大を支援すべく企業振興条例を改正し、更なる地域経済の活性化を目指してまいります。

なお、昨年誘致いたしました「オロテックス秋田株式会社」が横手第二工業団地内で、本年7月から操業を開始する予定であります。また一つ就業の場が拡大し、若者の地元定着が促進されるものと期待しており、今後も、地元就職を望む若者やAターンによる転職を希望する多くの皆様に当市を選んでいただけるよう、多様な就業の場の確保につなげてまいります。

公共温泉施設の民間譲渡の取り組みにつきましては、9か所の温泉施設のうち、6か所を民間譲渡いたしましてから約2年が経過し、これまで、前回公募時にお問い合わせいただいた事業者の皆様からご意見を伺い、それらを参考としながら、ときめき交流センター ゆっふる、ゆとりおん大雄、おおもり温泉さくら荘の民営化に向けた検討を進めてまいりました。この3施設につきましては、

平成28年策定の再編方針を基本とし、令和2年度より民間譲渡に向けた具体作業に着手いたします。

民営化に向けた検討にあたりましては、各施設の現状に関し市民の皆様、議員の皆様へご説明申し上げながら、その手法などについて協議を重ねてまいりますので、よろしくお願いいたします。

横手の魅力発信施策につきましては、オリンピック開催期間中、都内において、「世界中に持ち帰ることのできる横手」をテーマに、工芸品などを中心に横手の魅力に触れていただく「リトルよこてオリンピック場所」の開催を計画しております。

これまで以上にお客様の心を掴むことで、「横手ファン」の獲得と事業者所得の向上、地域経済の活性化につなげてまいります。

観光誘客促進対策につきましては、リニューアルによって一層魅力が向上した増田まんが美術館、ならびに国の重要伝統的建造物群保存地区であります「増田の町並み」といった高い誘客力を持つ増田エリアを核として市全体へ回遊性を図るなど、通年的に観光客の皆様を訪れていただく施策を展開してまいります。

さらに、インバウンド戦略といたしましては、台湾をメインターゲット国として、これまで台湾大同大学との友好関係を基軸に進めてきた「国際的産学官連携モデル事業」や「関係人口創出・拡大事業」を発展させるかたちで横手の魅力発信やSNSでの情報

拡散の促進、職場体験事業などを継続し、台湾においても横手を応援していただける人を増やし、更なる来訪者の増加を目指してまいります。

## **(5)安全で快適な住みよいまちづくり【建設交通】**

道路などの整備のうち、単独事業につきましては、「くらしのみちづくり事業」と「生活インフラ整備加速化事業」を統合し、新たに「生活基盤道路整備事業」として、道路改良7路線、舗装補修6路線、側溝改良1路線などの整備を予定しております。

交付金事業といたしましては、幹線道路の改良及び歩道整備・防雪柵の設置など3路線、舗装補修15路線、橋梁点検187橋、橋梁補修1か所などを予定しております。

また、併せて、道路舗装長寿命化計画策定の基礎とするために、1級及び2級の幹線市道につきましては、5年に1度の頻度で路面点検を実施しながら、引き続き安全安心な道路環境づくりに努めてまいります。

雨水排水対策につきましては、横手地域の金沢地区において水路等改良工事に着手するほか、朝日が丘地区においては、詳細測量設計、駅前地区においては、現況調査を実施する予定です。

また、十文字地域につきましても、雨水幹線の未整備箇所解消な

どの改修工事に着手し、浸水対策を進めてまいります。

立地適正化計画に基づく都市機能集積や居住誘導を図るため、計画区域内の都市機能施設整備などを検討する都市再生整備計画の策定を行うこととしております。本計画の策定にあたりましては、現在検討が進められている横手駅東口第二地区市街地再開発事業との調整を図りながら、事業間の相乗効果が発揮される計画となるよう十分な検討を行ってまいります。

八幡根岸線につきましては、横手病院北側から本町へ至る、延長315mの未整備区間について、県による街路事業として平成29年度より着手されております。

令和2年度は、現在実施しております用地測量や建物調査などの結果をもとに、住民説明会が開催され、その後、用地買収や建物補償の交渉に入ると伺っており、今後も引き続き県と連携して事業の進捗を図ってまいります。

平成9年度から実施している三枚橋地区土地区画整理事業は、これまで97%の事業進捗率となっております。

事業は最終局面を迎えており、令和元年度内には区画街路や街区公園の整備が完了することから、現在着手しております住居表示に関する取り組みを進め、8月には住居表示を実施したいと考えております。

水道事業につきましては、大雄一ノ関地区など6か所を対象に、水道施設等耐震化事業を行う予定としており、引き続き管路の耐震化を計画的に進めてまいります。

また、成瀬ダムの完成にあわせて建設を予定している「(仮称)雄物川浄水場」につきましては、令和元年度から2か年にわたって作成する基本設計をもとに横手市水道事業変更認可申請を行うこととしており、安全で安心な水質の確保と災害に強い施設の整備を進めてまいります。

下水道事業につきましては、横手市生活排水処理構想に基づく施設の統廃合事業として、公共下水道は山内相野々処理区を横手処理区へ接続するための<sup>かんきよ</sup>管渠築造工事、農業集落排水は大森・十日町・本郷処理区の統合処理場の土木工事を予定しております。未普及地域対策としては、横手地域の三本柳・松原地区、平鹿地域の石成地区の<sup>かんきよ</sup>管渠築造工事を継続してまいります。

## **(6) みんなの知恵を持ちよりみんなが輝くまちづくり【市民協働】**

平成29年度から実施してまいりました公文書館整備事業につきましては、このほど全ての工事が無事に完了し、5月1日に横手市公文書館が開館いたします。今後、業務開始に向けた最終準備と併せ、開館日当日に執り行うことといたしておりますオープニング

セレモニーにつきましても準備を進めてまいります。

県内では秋田県、大仙市に次ぐ3番目の設置となる横手市公文書館ですが、これまでの横手市の歴史を知るうえで重要な公文書の保存・公開拠点として、引き続き資料の評価選別作業を行うとともに、過去の写真や映像を取り入れた企画展示などを開催しながら、市民の皆様に気軽にご利用いただける親しみやすい施設を目指してまいります。

地域運営組織の形成に向けた取り組みといたしましては、金沢地区において、この3月に地域住民が主体となった地区交流センター運営協議会が設立されることとなっており、地区交流センター事業の開始に向けた準備が進められているところです。

また、山内地域、大雄地域においても、地区交流センター準備委員会が設置されているところであり、地区交流センター運営協議会の早期設立に向けた取り組みを推進してまいります。

市民の皆様が安心して暮らし続けることができる地域の実現を目指すべく、身近な地域課題の解決や地域活性化に向けて地域住民との対話を重ね、地域の将来を見据えた組織づくりを支援してまいります。

## (7) 計画実現のために【行政経営】

当市の公共施設は、1970年から2000年頃にかけて建設されたものが多く、横手市財産経営推進計画に基づいて、長寿命化や機能再編などを行っております。

特に、競技用体育館や市民ホールなどの大型公共施設につきましては早急な対応が必要と考えており、2018年度に「施設展望」というかたちで複数の選択肢を示しながら、一定の考え方を提示させていただきました。

各施設の老朽化が進むなか、横手平鹿広域圏民体育館を前身とする横手体育館や、芸術・文化の拠点である横手市民会館のあり方を主な焦点として、市民検討委員会の設置などを含めて、具体的な検討をするよう、あらためて指示をいたしました。

私は、当市が今後も県下第2の都市としての役割を果たしつつ、その地理的な利を生かした東北地方の拠点的な都市を目指すためにも、市民の皆様にとって必要な都市機能を適切に更新することが必要であるとの考えに変わりはありません。

加えて、現在の施設は老朽化が著しく、ごく近い将来、施設サービスの提供が困難になることが想定されるなかで、この待ったなしの課題を先送りすることは、今後の施設更新の機会を失うことと同義であり、まさに今、取り組むべき最重要課題であると認識

しております。

特に、多目的体育館の整備につきましては、私の選挙公約でもあり、市民ホールの整備とあわせて、市民の皆様からも多くの前向きなご意見を頂戴しているところでございます。

令和2年度は、第2次横手市総合計画の後期基本計画や、横手市財産経営推進計画に基づく施設の個別計画などを策定する重要な年度でありますので、当市の将来を見据えながら、年度内に大型公共施設の再編方針を定めてまいりたいと考えております。市民の皆様はじめ議員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 5. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、事業費の実績見込みによる減額及び財源の振替えなどが主な内容となっております。

補正額は、18億3,140万円の減額で、補正後の歳入歳出予算総額は、558億5,086万円であります。主な増額事業を申し上げますと、

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| ◎ 児童福祉総務費    | 1, 4 4 3 万 6 千円 |
| ◎ 県南愛児園費     | 8 0 0 万 円       |
| ◎ 農業生産基盤整備事業 | 5 4 1 万 6 千円    |
| ◎ 森林環境基金積立金  | 3 2 7 万 円       |

などであります。

## 6. おわりに

今議会に提案しております案件については、諮問案件 4 件、報告案件 5 件、条例の一部改正など条例関係 1 4 件、計画関係 1 件、財産貸付け案件 3 件、権利の放棄案件 5 件、市道路線の廃止認定案件 2 件、令和元年度一般会計補正予算案など補正議案 8 件、令和 2 年度予算の繰入れ案件 2 件、令和 2 年度予算案 1 2 件の合計 5 6 件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、施政方針といたします。

# 事業等の進捗状況編

～ 令和元年度事業等について ～

## 目 次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 令和元年度事業等の進捗状況について .....               | 28 |
| (1)会計年度任用職員制度の導入について .....            | 28 |
| (2)マイナポイントによる消費活性化策について .....         | 28 |
| (3)プレミアム付商品券事業について .....              | 29 |
| (4)横手市財産経営推進計画に基づく個別施設計画の策定について.....  | 31 |
| (5)横手市歴史文化基本構想の策定について.....            | 32 |
| (6)雄物川庁舎及び十文字地域多目的総合施設の整備事業について ..... | 33 |
| (7)公立保育所の民営化について .....                | 33 |
| (8)公共土木施設災害の復旧状況について .....            | 34 |
| (9)上下水道事業について .....                   | 34 |
| (10)消防分署統合事業について.....                 | 35 |

## 令和元年度事業等の進捗状況について

### (1) 会計年度任用職員制度の導入について

4月から導入される会計年度任用職員制度につきましては、現在、職員の任用などの手続きを進めており、対象職員数を1,360人と見込んでおります。

制度の導入により、会計年度任用職員となる方におかれましては、期末手当の支給などで処遇が大幅に改善されますが、一般会計と各特別会計を合わせ処遇改善に要する額を3億5千5百万円と見込み、全体として26億8千4百万円を当初予算に計上しております。

なお、行政運営の重要な担い手である会計年度任用職員の任用にあたりましては、応募の機会を確保しつつ高度な知識や技能を有する人財を確保するため、公募によらない任用を連続2回までとし、どの職種においても3年毎に公募による更新を行うものとしております。

### (2) マイナポイントによる消費活性化策について

国による消費税引き上げに伴う需要平準化策として、東京  
ニーゼロニーゼロ  
2020オリンピック・パラリンピック後の消費を下支えする観点から、マイナンバーカードをお持ちの方を対象に、マイナポイントと呼ばれる買い物に利用できるポイントの付与が予定されて

おります。

マイナポイントは、東京オリンピック・パラリンピック終了後の、令和2年9月から令和3年3月までの7か月間、キャッシュレスでチャージまたは買い物をした金額の25パーセントについて、1人あたり5千円相当分を上限に付与されます。

マイナポイントを受け取るためには、「マイナンバーカードの取得」、「マイキーIDの設定」、「マイナポイントの申し込み」の3つの手続きが必要となります。マイナポイントの申し込みは、令和2年7月から可能となりますが、7月以降はマイナンバーカードの交付申請が混み合うことが予想されます。マイナンバーカードをまだお持ちでない方は、この機会にお早めにカードの交付申請をしていただきますようお願いいたします。当市では、マイナンバーカードの申請や、マイキーIDの設定の支援サービスを実施しておりますのでご活用ください。

### **(3) プレミアム付商品券事業について**

消費税率引き上げに伴う消費への影響を緩和し、地域経済を下支えするため実施しておりますプレミアム付商品券事業につきましては、住民税が非課税となっている方向けの購入引換券の申請が低調

であったため、昨年12月16日までとしておりました申請の受付期限を、1月31日まで延長して取り組んでまいりました。

申請状況でございますが、2月10日現在、対象者1万8,090名に対して購入引換券の申請者数は6,700名、申請率は約37.0%、そのうち引換券交付者数は6,633名、対象者数に対する発行率は約36.7%となっております。

申請率が伸び悩んだ原因といたしましては、これまでの給付型と比べ「購入費用の工面が必要であること」や「手続きの煩雑さ」などがあったものと考えております。

また、商品券の販売状況であります。2月10日現在、購入引換券発行者数が8,292名、プレミアム分を除く販売予定額1億6,584万円に対し、実際の販売額は1億1,595万2千円であり、その割合は約69.9%となっております。

商品券の購入につきましては、2月28日が期限となっておりますので、お買い忘れのないようコミュニティFMなどを活用して、呼びかけを行うとともに、使用期限となっている3月31日までに忘れずに商品券をご活用いただくよう併せて呼びかけてまいります。対象となっている皆様におかれましては、ぜひご利用くださるようお願いいたします。

## (4)横手市財産経営推進計画に基づく個別施設計画の策定について

「横手市財産経営推進計画」いわゆるFM計画に基づき、公共施設毎の具体的な対応方針を定める個別施設計画につきましては、令和2年度中の策定完了を目指し、現在内容の検討を進めております。

個別施設計画の策定にあたりましては、施設の再配置方針において「長寿」、「複合」、「統合」として長寿命化を図る必要がある施設を対象に、施設の劣化度などの調査を昨年8月から11月にかけて実施し、施設の現状を把握したところです。

現在は、各施設が有する地域性や重要性などの要素も加味する必要があることから、庁内にワーキンググループを立ち上げ、優先順位の調整、施設改修に係る費用の算定などを行っているところです。

今後は、市民の皆様や議員の皆様への説明を継続的に行いながら、総合計画や財政計画との整合性を取り、実効性のある計画となるよう進めてまいります。

## (5)横手市歴史文化基本構想の策定について

平成30年度より着手しております「横手市歴史文化基本構想」策定事業につきましては、令和元年度においては有識者や住民代表による「横手市歴史文化基本構想策定委員会」を3回開催し、調査や策定に関する協議を行いました。また、平成30年度に引き続き歴史素材の分布について調査する「まちづくりワークショップ」を2地域で開催し、地域住民の皆様にご参加いただきました。これにより、平成30年度と合わせ市内8地域350件余りの歴史文化遺産を把握したほか、現在は各地域の歴史資産や地域事情に精通した地域調査員による8地域の歴史文化の特徴のとりまとめを実施しております。これらの調査結果につきましては、来たる2月24日に中間報告会を開催し、市民の皆様に対しまして現在までの策定状況をご報告させていただく予定としております。

令和2年度は、文化財保護法の改正に伴い文化財保存活用地域計画の策定へと移行し、調査事業を継続しながら令和3年度中の認定を目指して、計画の素案をまとめることとしております。

横手市の歴史文化の特徴を整理しつつ、市内各地にある指定・未指定の歴史文化遺産を保存・活用し、市民の皆様の「郷土の学び」や「地域づくり」に活かすことができるよう、計画の策定を進めてまいります。

## **(6)雄物川庁舎及び十文字地域多目的総合施設の整備事業について**

平成30年度より実施しております雄物川新庁舎及び十文字地域多目的総合施設の整備事業につきましては、令和元年度より建築本体、電気設備、機械設備、地中熱を利用した設備の工事を行っており、予定している工程は順調に進捗しております。

令和2年度の整備事業につきましては、建築工事は8月下旬から9月中旬に、外構工事は10月中を目途に完成予定であり、11月上旬の供用開始に向けて準備を進めてまいります。

なお、庁舎機能の移転につきましては、地域の皆様に周知しながら行政サービスの提供に支障のないよう実施するとともに、どなたでも利用しやすい施設となるよう環境整備に努めてまいります。

## **(7)公立保育所の民営化について**

公立保育所の民営化につきましては、「横手市教育・保育施設整備計画及び公立保育所民営化計画」に基づき、着実に進捗しております。

令和2年度より民営化される、植田保育所・睦合保育所の統合保育園、及びたいゆう保育園につきましては、民営化法人による新園舎建設工事が間もなく完了する見込みであり、現在、4月の開園に

向けて着々と準備を進めております。

民営化後は、民間のノウハウを活用して保育環境の充実を図り、より質の高い保育サービスが提供されるよう指導してまいります。

## **(8)公共土木施設災害の復旧状況について**

平成29年7月の豪雨により被災した公共土木施設につきましては、道路災害12か所、河川災害17か所、橋梁災害1か所、災害関連2か所の計32か所について国庫補助事業による災害復旧工事を実施しております。

繰越しておりました河川3か所、橋梁1か所、災害関連2か所の工事が令和元年度に完成し、国庫補助事業により実施しておりました32か所の災害箇所すべてを復旧いたしました。

## **(9)上下水道事業について**

水道事業につきましては、配水管整備工事を市内17か所で実施しており、うち雄物川今宿地区など12か所は既に完成し、大雄福祉センターラインなど5か所が、令和元年度内の完成予定となっております。

また、成瀬ダムの完成にあわせて建設を予定している「(仮称)雄物川浄水場」につきましては、基本設計に係る検討委員会を立ち

上げ検討を重ねてまいりました。この後予定している第3回検討委員会を経て提出されます検討報告書を検証した上で、基本設計が作成されることとなります。

公共下水道事業につきましては、<sup>かんきょ</sup>管渠築造工事として発注した、横手地域の伏山・六ノ口地区、三本柳地区、松原地区、平鹿地域の石成地区が完成しております。

## **(10)消防分署統合事業について**

消防分署統合事業につきましては、増田・十文字分署を統合した「南分署」が令和元年度より本格的に稼働いたしました。

また、雄物川・大森大雄分署を統合する「西分署」につきましても、令和元年度末に完成予定となっており、これにより、平成28年度より着手しております分署統合事業がすべて完了いたします。

今後は、新たな分署の整備による機動的な出動体制を最大限に活かし、災害対応機能の更なる強化を図ってまいります。

# 行政一般報告編

～ 12月議会定例会以降の行事等について ～

## 目 次

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| (1)横手市増田まんが美術館                       | 38 |
| (2)横手地域の「冬のイベント」                     | 38 |
| (3)第32回槻の木光のファンタジー                   | 39 |
| (4)年末年始行事伝承会「むかしの行事を体験しよう」           | 39 |
| (5)第28回銀河系宇宙ほらふき決勝大会                 | 39 |
| (6)かまくらin木戸五郎兵衛村2020                 | 40 |
| (7)おおもりケヤキ並木イルミネーション                 | 40 |
| (8)大森地域「ぼんでん発表会」                     | 40 |
| (9)「丸の内行幸マルシェ×青空市場」への出展              | 41 |
| (10)十文字イルミネーション                      | 41 |
| (11)第14回いぶりんピック                      | 41 |
| (12)大雄イルミネーション                       | 42 |
| (13)2020大雄子どもフェスティバル                 | 42 |
| (14)「出前かまくら」の実施                      | 43 |
| (15)横手の雪まつり                          | 43 |
| (16)父親の家庭教育参加促進事業                    | 44 |
| (17)横手市生涯学習関係者研修会                    | 44 |
| (18)冬休み子ども教室                         | 44 |
| (19)横手わか杉カップ東日本中学バレーボール大会            | 45 |
| (20)横手市内の中高生による横手バドミントンジュニアチームの海外合宿  | 45 |
| (21)第8回チャンピオンズカップ横手東北中学校新人バスケットボール大会 | 45 |
| (22)バドミントン講話・体験教室                    | 45 |
| (23)雄物川郷土資料館第4回特別展「ひな人形展」開催          | 46 |
| (24)後三年合戦金沢資料館特別展示「後三年合戦顕彰活動の歩み」     | 46 |

## 令和元年12月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                        | 概要等   |
|-----------------------------|---|
| <b>まちづくり推進部<br/>(文化振興課)</b> | <p><b>(1)横手市増田まんが美術館</b></p> <p>昨年5月1日にリニューアルオープンしました横手市増田まんが美術館は、9月23日には来館者10万人を達成し、更に12月1日には、令和元年度の入館者目標であります12万人を達成したところです。現在も美術館での各種企画のほか、市内の小中学校を対象とした「未来の漫画家発掘プロジェクト」などのマンガ教育活用事業も展開中であり、今後も指定管理者である横手市増田まんが美術財団及び関係者と連携しながら、更なる誘客促進とマンガ活用に取り組んでまいります。</p>  |
| <b>まちづくり推進部<br/>(横手地域局)</b> | <p><b>(2)横手地域の「冬のイベント」</b></p> <p>横手地域では、各地区で「冬のイベント」が開催されました。</p> <p><b>【黒川・境町地区】</b> … 2月2日、雪まつり（オアシス館周辺）<br/>黒川・境町地区合同による「横手西地区雪まつり」が開催され、多くの地区住民の皆様が参加されました。<br/>会場では、餅つきや凧揚げ、宝探しなどで地区や世代を越えた交流がなされ、これまでにない盛大な「雪まつり」となりました。</p> <p><b>【金沢地区】</b> … 2月8日、雪まつり（金沢孔城館周辺）<br/>金沢孔城館を会場に、金沢保育園の園児や地区住民の皆様の協力により、子どもたちの歓声が響くなかで餅まきなどが行われ、多くの来場者が賑やかに楽しみました。</p> |

## 令和元年12月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                         | 概要等   |
|------------------------------|---|
| <b>まちづくり推進部<br/>(平鹿地域局)</b>  | <p><b>(3)第32回榎の木光のファンタジー</b></p> <p>昨年12月14日から1月12日までの30日間にわたり「第32回榎の木光のファンタジー」が開催されました。</p> <p>期間中は、地域のシンボルとして親しまれている高さ40mの榎の木と琵琶沼周辺が約35,000個のLED電球でライトアップされました。また、地元の小学生が製作した絵灯籠が並ぶなど、会場全体が幻想的な空間に生まれ変わり、約6,500人の来場者を迎え入れました。</p> <p>点灯式では、浅舞感恩講保育園前で保育園児による歌や踊りが繰り広げられたあと、カウントダウンにあわせ一斉にイルミネーションが点灯。打上げ花火とともに巨大なツリーが現れ、光のシャワーが降り注ぎました。</p> <p>また、会場では甘酒やおしるこが振る舞われ、4地域連携のスタンプラリーが開催されるなど、来場者に大変好評をいただきました。</p> <p>このイベントは多くの平鹿地域の皆様の協力により開催されており、今後も地域との繋がりを大切にしながら取り組んでまいります。</p> |
| <b>まちづくり推進部<br/>(雄物川地域局)</b> | <p><b>(4)年末年始行事伝承会「むかしの行事を体験しよう」</b></p> <p>昨年12月12日、民家苑木戸五郎兵衛村を会場に、地域に伝わる年末年始行事を体験する催しが開催されました。</p> <p>これは、廃れつつある地域の行事を、子どもたちに伝え体験してもらうことを目的に、雄物川町文化財保護協会が行っているもので、今回で28回目となります。</p> <p>参加した雄物川小学校5年生の児童47名は、行事の由来や作法の説明を受けながら、しめ飾りづくり、若水汲み、灸立て、餅つきを体験しました。</p>  |
| <b>まちづくり推進部<br/>(雄物川地域局)</b> | <p><b>(5)第28回銀河系宇宙ほらふき決勝大会</b></p> <p>1月11日、雄物川コミュニティセンターを会場に「銀河系宇宙ほらふき決勝大会」が開催されました。このイベントは、宇宙規模の「ほら話」で地域の人たちに笑いを届け、ほら話から地域活性化の糸口をみつけようと、雄物川町明道塾が主催しているものです。</p> <p>本年は、市内外から8組9名の出場者があり、うち4名は初出場でした。会場には約300人の観客がつめかけ、壮大なほら話と凝った演出に、客席は大きな笑いに包まれました。大賞は「ほらは地球を救う！」と題して発表した、羽後町の「ジャイアントばがさん」が選ばれました。</p>   |

## 令和元年12月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                         | 概要等  |
|------------------------------|--|
| <b>まちづくり推進部<br/>(雄物川地域局)</b> | <p><b>(6)かまくらin木戸五郎兵衛村2020</b></p> <p>2月14日～16日、民家苑「木戸五郎兵衛村」を会場に、かまくら撮影会、かまくらin木戸五郎兵衛村2020が開催され、期間中多くの観光客が訪れました。古民家をバックに5基のかまくらと100基を超えるミニかまくらが設置された会場は、ライトアップされ幻想的な風景を醸し出しました。餅や甘酒、漬物の振る舞い、しめ縄づくりやソリ滑りなど、雪国ならではの食や体験コーナーも設けられ、昔ながらの冬を満喫しました。</p> <p>また、このイベントに先立ち2月8、9日には、木戸五郎兵衛村が大手旅行会社のツアーコースにも選定され、参加したツアー客らは、かまくら体験のほか、かやぶき民家での餅つきや昔語り、ミニかまくら作りやケチ滑りなど、「自分たちだけのかまくら体験」を存分に楽しんでいました。</p> |
| <b>まちづくり推進部<br/>(大森地域局)</b>  | <p><b>(7)おおもりケヤキ並木イルミネーション</b></p> <p>昨年11月30日から1月5日にかけて、大森地域局庁舎前を会場に、大森地域の冬の風物詩「おおもりケヤキ並木イルミネーション」を開催しました。大森リゾート村の芝桜をイメージしたピンクや白のLED電球が幻想的な雰囲気演出し、道行く方々に楽しんでいただきました。</p> <p>初日の点灯式では、カウントダウンに合わせ、子どもたちがスイッチを押すとイルミネーションが一斉に点灯し、同時に花火も打ち上げられ、大きな歓声があがりました。点灯式後は、炊き込みご飯と芝桜うどんの振る舞いのほか、ハンドベルが演奏され、子どもたちにはサンタさんからプレゼントがあり、たくさんの方々が楽しみました。</p>   |
| <b>まちづくり推進部<br/>(大森地域局)</b>  | <p><b>(8)大森地域「ぼんでん発表会」</b></p> <p>1月3日、秋田県内で最も早い梵天と言われる「三助稲荷神社梵天奉納行事」が行われました。奉納前の「ぼんでん発表会」には、川西地区の小学生や町内会から色鮮やかな布で飾られた10本の梵天が集まり、梵天の特徴などが紹介されました。なかには、威勢のいい梵天唄を披露した町内会や、花火をあげた梵天もあり、集まった住民から大きな拍手が送られていました。</p> <p>発表会後には、男衆が「ジョヤサ、ジョヤサ」の大きな掛け声とともに梵天を奉納し、五穀豊穰や家内安泰、商売繁盛を祈願を祈願いたしました。</p>  |

## 令和元年12月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                         | 概要等   |
|------------------------------|---|
| <b>まちづくり推進部<br/>(十文字地域局)</b> | <p><b>(9)「丸の内行幸マルシェ×青空市場」への出展</b></p> <p>昨年9月27日と11月29日に俳優の永島敏行氏が主催する「丸の内行幸マルシェ×青空市場」に出展しました。大消費地である都会の真ん中で、永島氏を広告塔にメディアを通したPRの実施と、生産者自らの対面販売を行い、横手市という地名のブランド化ならびに地元産品の付加価値を高めることを目的にしています。</p> <p>出展に際して、首都圏十文字会会員の皆様にダイレクトメールでお知らせすることで、多くの会員の方々にお越しいただき、また、販売の際は会長をはじめ会員のご協力により毎回、盛況となっています。</p> <p>今後も、生産者の対面販売と首都圏十文字会の皆様のご協力をいただきながら、横手市の知名度アップと地元産品の良さを都会に発信していきます。</p> |
| <b>まちづくり推進部<br/>(十文字地域局)</b> | <p><b>(10)十文字イルミネーション</b></p> <p>昨年12月7日から1月13日にかけて、十字の里を会場に、4回目の「十文字イルミネーション」が開催されました。</p> <p>十字の里の桜並木10本に約20,000個のLED電球が灯され、普段とは違う幻想的な雰囲気が漂っていました。</p> <p>初日には、点灯式を行い、会場に集まった全員のカウントダウンでイルミネーションが点灯されると、大きな歓声で包まれました。また、会場内では来場者に、豚汁、ココアなどがふるまわれ、「麺まき、餅まき、お菓子まき」も楽しんでいただきました。</p> <p>昨年から参加している4地域でのスタンプラリーにもたくさんの応募をいただきました。</p>   |
| <b>まちづくり推進部<br/>(山内地域局)</b>  | <p><b>(11)第14回いぶりんピック</b></p> <p>2月5日、山内公民館を会場に「第14回いぶりんピック」を開催しました。これは、山内地域伝統の「いぶりがっこ」を守り続けるとともに、更なる品質向上を目指すため、横手市と山内いぶりがっこ生産者の会が主催したものです。</p> <p>天然由来の添加物を使用した「いぶりがっこクラシカル部門」には、販売用いぶりがっこを生産する方々から16点、添加物を使用したいぶりがっこ及び燻製食品を対象とした「いぶりフリースタイル部門」には7点の出品があり、それぞれが丹精込めた自慢の一品の味を競いました。</p> <p>当日は、出品者を対象に、秋田県生活センター南部消費生活相談室から講師を招き、食品表示法完全移行に向けた「農産物漬物の表示」について研修会も行われました。</p>     |

## 令和元年12月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                        | 概要等   |
|-----------------------------|---|
| <b>まちづくり推進部<br/>(大雄地域局)</b> | <p><b>(12)大雄イルミネーション</b></p> <p>昨年11月23日から12月25日にかけて、6回目となる「大雄イルミネーション」が開催されました。</p> <p>ゆとりおん大雄前の歩道に、高さ2メートルのアーチを40メートル設置し、約10,000個のLED電球が幻想的な雰囲気醸し出しました。</p> <p>初日の点灯式は天候にも恵まれ、約500人の来場者で賑わい、カウントダウンで色とりどりのイルミネーションが点灯し、花火が打ち上げられると、会場は大きな歓声に包まれました。来場者には、うどんや甘酒、おしるこが振る舞われたほか、子どもたちにはサンタクロースから一足早いクリスマスプレゼントが手渡されました。</p> <p>イルミネーション点灯式は、大雄地域を皮切りに、大森、十字、平鹿地域へと点灯リレーされ、4地域でのスタンプラリーも、市内外からたくさんの応募をいただきました。</p> |
| <b>まちづくり推進部<br/>(大雄地域局)</b> | <p><b>(13)2020大雄子どもフェスティバル</b></p> <p>1月25日、大雄交流研修館と大雄運動公園を会場に、「大雄子どもフェスティバル」を開催しました。</p> <p>これは、地域づくりの一環として、生涯学習奨励員や大雄母親クラブ「はんど・はんど」など、地域ボランティアの協力をいただきながら、実施し今回で21回目となります。</p> <p>屋内会場では、たいゆう保育園児による太鼓演奏や餅つき、工作教室など、屋外会場では、除雪車の乗車体験が行われました。フェスティバルの最後にはじゃんけん大会や餅まきが行われ、地域内外から訪れた200人の親子連れが楽しみました。</p>   |

## 令和元年12月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                              | 概 要 等   |
|-----------------------------------|---|
| <b>商工観光部</b><br><b>（観光おもてなし課）</b> | <p><b>(14)「出前かまくら」の実施</b></p> <p>横手の冬ブランド化事業の一環として、伝統行事「かまくら」の観光PRならびに誘客、当市の認知度向上を図るため、「出前かまくら」を実施いたしました。</p> <p>昨年末に開催された東京湾アクアライン海ほたるパーキングエリアを皮切りに、関東・関西圏を中心にこれまでに7か所で開催を終え、今後1か所での開催を予定しております。</p> <p>これまでに開催を終えた各会場へは、「かまくら職人」が作る本物のかまくらをお目当てに非常に多くのお客様に訪れていただいたほか、現地マスコミからも注目を集めました。</p> <p><b>【全8か所】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12月21日～22日 千葉県木更津市 海ほたるパーキングエリア</li> <li>・ 12月23日～25日 仙北市 玉川温泉 ※製作のみ</li> <li>・ 12月28日～29日 東京都港区 東京タワー</li> <li>・ 1月11日～13日 神奈川県横浜市 横浜八景島シーパラダイス</li> <li>・ 1月17日～19日 大阪府 伊丹空港</li> <li>・ 1月18日～19日 千葉県市川市 ニッケ・コルトンプラザ市川</li> <li>・ 1月25日～26日 兵庫県加古川市 ニッケ・パークタウン</li> <li>・ 2月22日～24日 愛知県名古屋市 ららぽーと名古屋（予定）</li> </ul> |
| <b>商工観光部</b><br><b>（観光おもてなし課）</b> | <p><b>(15)横手の雪まつり</b></p> <p>2月2日の「ぼんでん唄コンクール」を皮切りに、「横手の雪まつり」が2月17日まで開催されました。</p> <p>2月15日、16日のかまくらは、土日の開催とあつて多くの観光客が来場し、甘酒や餅の振る舞いなどのおもてなしを楽しんでいました。</p> <p>16日の「ぼんでんコンクール」では、各町内や団体が趣向を凝らした豪華絢爛なぼんでん30数本が集まり、その出来栄を競うとともに、17日の「ぼんでん奉納」では、ほら貝の音と「ジョヤサ！」の掛け声により勇壮に奉納されました。</p> <p>期間中は、多くの報道機関に取り上げられ、横手の雪まつりを全国にPRすることができました。</p>   |

## 令和元年12月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                           | 概要等  |
|--------------------------------|--|
| <b>教育総務部</b><br><b>(生涯学習課)</b> | <p><b>(16)父親の家庭教育参加促進事業</b></p> <p>昨年12月14日、平鹿生涯学習センターを会場に「お父さんと挑戦！ダンボールでお家づくり」を開催し、市内小学校1、2年生とその父親19組が参加しました。</p> <p>この事業は、父親の家庭教育参加促進による家庭での教育力の向上と、父親同士が子育てについて考え、交流を深める場の創出を目的に開催したものです。</p> <p>参加者からは、子どもと一緒に考え制作する過程がとても楽しく、貴重な時間が過ごせたとの声が聞かれました。</p> <p>また、父親同士の懇談タイムでは、子どものゲームやスマホ利用について、各家庭での対処法に関する意見交換が行われました。</p>              |
| <b>教育総務部</b><br><b>(生涯学習課)</b> | <p><b>(17)横手市生涯学習関係者研修会</b></p> <p>昨年12月19日、大雄交流研修館を会場に、生涯学習関係者が一堂に会した合同研修を開催しました。</p> <p>令和元年度は「自分ができる防災を探求し、地域住民への広報支援に繋がる活動に活かそう」をテーマに、関係者84名が参加しました。</p> <p>当市における災害の実態や心得についての講話、公民館における防災事業の事例発表、防災用品の展示、避難時におけるエコノミークラス症候群予防体操、サークル団体による活動発表を行いました。</p> <p>参加者からは「今後地域住民との生涯学習事業のなかでも、様々な『防災』を実施していきたい」などの声をいただき、充実した時間を過ごしました。</p> |
| <b>教育総務部</b><br><b>(生涯学習課)</b> | <p><b>(18)冬休み子ども教室</b></p> <p>小学校冬季休業中の最大5日間、市内16か所で冬休み子ども教室を開設し、316名の子ども達が参加しました。</p> <p>この事業は、地域ぐるみで子どもを育み、健全育成を図ることを目的としていることから、各教室のコーディネーターや教育活動推進員、学習支援員のほか、体験活動の講師として広く地域住民や地元事業所の皆さまにご協力をいただいております。</p> <p>各教室では地域の特色や伝統を学ぶメニューなど、趣向を凝らした様々な活動が行われ、参加した子どもたちは普段体験することのできない貴重な時間を過ごしました。</p>   |

## 令和元年12月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                             | 概 要 等   |
|----------------------------------|---|
| <b>教育総務部</b><br><b>(スポーツ振興課)</b> | <b>(19)横手わか杉カップ東日本中学バレーボール大会</b><br>昨年11月30日と12月1日、東北の強豪チームが集い互いのレベルアップを図ることを目的にバレーボール大会を開催しました。北海道・東北各県・新潟県・茨城県の中学校トップレベルの選手を選抜し編成した男女16チームが出場し、男女とも山形県が優勝しました。秋田県選抜は男子が8位、女子が3位となりました。  |
| <b>教育総務部</b><br><b>(スポーツ振興課)</b> | <b>(20)横手市内の中高生による横手バドミントンジュニアチームの海外合宿</b><br>横手市ホストタウン青少年交流事業として、今回初めて横手市内の中高生による「横手バドミントンジュニアチーム(選手12名、監督及びコーチ3名)」を編成し、ホストタウン相手国であるインドネシア共和国にて昨年12月13日から12月20日まで海外合宿を行いました。<br>合宿ではインドネシア共和国ジャルム社バドミントンクラブの協力のもと、同世代のトップレベルの選手との練習を行うことができ、個々のスキルアップに繋がる良い経験となりました。 |
| <b>教育総務部</b><br><b>(スポーツ振興課)</b> | <b>(21)第8回チャンピオンズカップ横手東北中学校新人バスケットボール大会</b><br>1月11日から13日にかけて、バスケットボールを通じて東北地区の中学校の交流を図るとともに、横手市内チームの強化や育成を目的にバスケットボール大会を開催しました。男女24チームが出場し、男子は秋田市の城南中学校が優勝し、横手市の十文字中学校が準優勝しました。女子は青森県の鶴田中学校が優勝しました。  |
| <b>教育総務部</b><br><b>(スポーツ振興課)</b> | <b>(22)バドミントン講話・体験教室</b><br>2月16日、横手体育館を会場にバドミントン元オリンピック選手の小椋久美子さんによる講話と初心者向け親子バドミントン体験教室を開催しました。小椋さんからはオリンピック出場時の貴重な体験などのお話をいただき、体験教室ではバドミントン競技の楽しさを熱心に伝えていただきました。   |

## 令和元年12月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                           | 概 要 等   |
|--------------------------------|---|
| <b>教育総務部</b><br><b>(文化財保護)</b> | <p><b>(23)雄物川郷土資料館第4回特別展「ひな人形展」開催</b></p> <p>1月18日から3月22日にかけて雄物川郷土資料館において、「ひな人形展～旧家の人形たち～」を開催しています。</p> <p>このひな人形展は、今回で通算31回目の開催であり、市指定文化財の享保雛を中心に、雄物川町の旧家に伝わるお雛様と押絵、手芸家の大橋壽子先生と生徒の皆さんのつるし飾りの作品などを展示しています。</p>    |
| <b>教育総務部</b><br><b>(文化財保護)</b> | <p><b>(24)後三年合戦金沢資料館特別展示「後三年合戦顕彰活動の歩み」</b></p> <p>2月8日から3月29日まで後三年合戦金沢資料館で「後三年合戦顕彰活動の歩み～明治・大正・昭和～」と題した特別展示を行っています。明治・大正・昭和時代の金澤八幡宮周辺の写真や、昭和天皇（皇太子時）金沢ご巡幸時の写真、また地域住民を中心とした顕彰団体である「金澤保古会」で制作された資料や書籍などを展示しています。</p> |